

えりもしゅくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

防災教育が各学校でいよいよスタート

笛舞小、えりも岬小で

地域連携の防災教育の実践

本年度、えりも町教育委員会では、重点項目の一つとして、「いつ来るか分からない地震と津波」を想定して、学校が中核となって地域の人々と一緒に考え行動する防災教育を計画、実行することとしました。

その取組が、5月21日（木）に笛舞小学校と地域の方々14名が集まり、また、5月25日（月）には、えりも岬小学校で自治会の役員の方々など4名が集まり行われました。

笛舞小学校では、①地域連携を高めること②子どもの意識を高めることの2つを大きな目標として、地震では地域の皆さんの参観、その後、大津波警報で地域の人々と子どもたちが一緒に高台に避難をしました。反省では、学校評議員の川村 磨さんから、「避難する経路の注意点や墓地の付近の地形など」についてアドバイスをいただきました。



(地震発生でグラウンドに避難した子どもたち。気付くでしょうか、日ごろの学習規律の一つ「聞くときの姿勢」がしっかりと育っていることが見えます。～笛舞小の様子)



(大津波警報で、地域の人々と高台に避難する子どもたち。地域と学校の連携を自らが実践している姿です。地域が子どもたちを守る、見守る、そのすばらしい取組と言えます。～笛舞小の様子)

えりも岬小学校では、「総合的な学習の時間」に防災教育を32時間位置付け、その一環として5月25日（月）に行われました。特に実施に当たっては、事前に6時間、学習指導案を作成し「東日本大震災を見つめ直す、東日本大震災により失われた命、避難訓練の必要性と身体の守り方」などについて学び訓練を迎えました。

当日は、えりも岬地区の地域代表者である、連合自治会長の金丸重幸さんをはじめ、各地区自治会長や社会教育委員の皆さんに出席いただき避難訓練の様子を見ながら、最後には、避難の仕方や心構えなどについて意見を含めて感想をいただきました。

また、えりも岬小学校では、日頃から上級生と下級生の心のつながりを大切にする活動を行っており、今回の避難訓練に当たっても、「上級生が教えること、低学年にさせること」を指導の重点として取組が行われています。

えりも町では阪神・淡路大震災発生以来、自主防災組織の確立や自発的な防災活動の一層の促進を掲げています。そのため、教育委員会では、東日本大震災の教訓を受けて、これまでも各学校で地震や津波に係る避難訓練を実施していましたが、本年度からは、地域の人々との絆を一層深めるため、児童生徒と地域の人々が共に考え、「自分たちの地域の命は自分たちで守る」の精神で、各学校で行うこととしています。自治会長の皆様のご理解等を通してご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

学習規律の徹底を図る取組と保護者の皆さんへのお願い

えりも町では、各学校が学習規律の徹底を図り、学習に集中する学びの姿勢を整えるなど、小学校、中学校、高等学校が教育向上対策委員会の方針を受けて指導に当たっています。各家庭においても、この取組に一層理解いただくとともに、家庭学習における学習環境を整え、学習に対する心構えを育てるためのご協力を更にお願いたします。

次の実践は、『えりも岬小学校における「学びの姿勢」の育成による学力向上』の取組です。

「学びの姿勢」の育成を通じて

- * 学ぶことの意味を理解させ、よりよい学び方を子どもたちに見出させます。
- * 授業挨拶や返事の指導を通して、学ぶにあたっての礼儀を身に付けさせます。
- * けじめをつけ、学習に集中しようとする意識を育みます。
- * 集中力を身に付け、授業で多くの吸収をできる力を身に付けさせます。



座り方

- * 腰を深くかけ、背筋がまっすぐになるように座ります。
- * 背筋を丸めて座ると疲れやすくなり、集中力も続かなくなります。

授業のあいさつ

- * 「人から学ぶ」「教えてもらう」意味を受け、授業あいさつをしっかりできるように指導します。
- * 休み時間と授業の切り替えができ、メリハリをつけて生活できる態度を身に付けさせます。



授業準備

- * 授業が終わったら、次の授業準備を必ず行うようになっています。
- * 授業のあいさつをして、すぐに学習できるように、ノートは使うページを開くようになっています。



机上整理

- * 授業に集中できるよう、必要でない筆記用具は出さないように指導しています。
- * 筆箱の中身は「鉛筆」「赤鉛筆(赤ボールペン)」「消しゴム」「定規」となっています。教科指導中、他の筆記用具は必要でないと指導しています。



机中整理

- * 机中の整理を行うように指導しています。
- * 朝の会にて、教科書やノート類の忘れ物がないかを調べると同時に、1時間に使う教科書等を一番上に置くように指導しています。使った後は一番下に片付けることも行っています。



整理整頓

- * ロッカーや道具入れなどの整理整頓を意識させるように指導しています。
- * できていない場合でも担任が手伝わないようにしています。